

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	スポーツ課長 小川 充則		
健福-55	重点事業	各種スポーツ行事事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	スポーツ課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	市民スポーツ・レクリエーションの推進	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	身近なところで、自主的に、気軽に楽しむことができるスポーツの振興を図るとともに、指導者の養成と資質向上を図るため。
効果	市民のスポーツ・レクリエーションの推進やスポーツ・レクリエーション活動の支援を図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 市民の体力・健康づくりや地域コミュニティの活性化を図った。 市民スポーツ大会や初心者向けの教室を開催し、市民の競技力向上を図るとともに競技者の裾野を広げた。 子ども達を対象として、トップアスリート等から実技指導を受ける機会を提供し、ジュニアアスリートの育成を図った。 トップアスリートとの交流を図る機会を提供し、市民のオリンピック・パラリンピックやスポーツに対する機運の醸成に努めた。 オリンピック・パラリンピックの強化指定選手となった市民に奨励金を支給した。 障がい者スポーツの体験会や用具・写真パネルの展示により障がい者スポーツの普及・促進を図った。 湘南ベルマーレのホームタウンの一員として、市を挙げて応援する機運を醸成するとともに、同チームによる地域貢献活動に協力した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	12,459	13,886	当初予算(千円)	14,705		
	国県支出金	3,548	4,309	国県支出金	4,500		
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	8,911	9,577	一般財源	10,205		
	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	1.5		
	人件費(千円)	7,895	8,050	人件費(千円)	11,819		
事業経費	総事業費(千円)	20,689	21,936	総事業費(千円)	26,524		
	市民1人当りの経費(円)	117	124	市民1人当りの経費(円)	150		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 体育協会・レクリエーション協会・スポーツ推進委員連絡協議会・地区スポーツ振興会・マリンスポーツ連盟・湘南ベルマーレ・徳洲会体操クラブ

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	オリンピック関連事業として、ジュニアアスリート育成事業の充実、障害者スポーツの普及、オリンピック・パラリンピックの機運の醸成に注力する。令和3年度(2021年度)に神奈川県が開催県となる全国健康福祉祭(ねんりんピック)において、本市もスポーツチャンバラを開催する。
	事業内容・予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	令和3年度(2021年度)に全国健康福祉祭(ねんりんピック)を行うため、拡大の方向性にある。	

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> 市民のスポーツ実施率の向上や健康維持・増進を目的として、市民のニーズに対応した各種教室やイベントの更なる充実を図る。 身近なところで気軽にスポーツが実施できるよう地域スポーツの振興を図る。 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、機運を醸成し市民のスポーツ振興につなげるとともに、ジュニア世代を対象に教室を開催し市民の競技力向上を図る。 障がい者スポーツに対する理解を深め、あらゆる市民がスポーツに親しめる環境を提供する。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者等との連携により民間のノウハウを活用しながら市民ニーズに対応した各種教室の更なる充実を図る必要がある。 東京オリンピック・パラリンピックに向けた競技力の向上に資する事業の開催には競技団体との更なる連携を強化する必要がある。 藤沢市で開催される東京オリンピック・パラリンピックセーリング競技会に向けて市民の機運を醸成するためマリンスポーツの普及促進を図る必要がある。 障がい者スポーツの推進に向け、イベントの実施に向けて関係団体等と調整を更に行う必要がある。 	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> マリンスポーツ関係団体と連携を図りながらイベントを開催し、マリンスポーツやビーチで行うスポーツの振興を図った。 教育委員会及び車椅子バスケットボールチームと連携し、授業の中で体験会を実施した他、スポーツ・レクリエーションフェアやマリンスポーツフェアでは東京ガス株神奈川西支店との連携により競技用車椅子の試乗体験やボッチャの競技体験などを行い、障がい者スポーツの普及・促進を図った。 特定非営利活動法人湘南バリアフリーツアーズセンターとバリアフリープールを共催し、障がい者のプール体験(水慣れ・リラクゼーション・リハビリテーション等)を実施した。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者等との連携により民間のノウハウを活用しながら市民ニーズに対応した各種教室の更なる充実を図る必要がある。 東京オリンピック・パラリンピックに向けた競技力の向上に資する事業の開催には競技団体との更なる連携を強化する必要がある。 藤沢市で開催される東京オリンピック・パラリンピックセーリング競技会に向けて市民の機運を醸成するためマリンスポーツ関係団体と連携し、より効果的に普及促進を図る。 スポーツイベントに誰もが気軽に参加できる環境を整える必要がある。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	県民スポーツ月間(9月～11日)でのスポーツイベント開催数(神奈川県が公表している最新の情報を利用しているため平成28年度の実績。又、数値がカッコのものは雨天等により中止したため計画数を記載)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	秦野市	小田原市	平塚市	逗子市	南足柄市	三浦市
他市実績	5	3	1	4	2	1	1	1	1

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	神奈川県がスポーツ月間と定めた期間(9月から11月まで)における市主催スポーツ行事数により、生涯スポーツの普及に向けた取組みを比較する。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	スポーツ・レクリエーションフェア参加人数						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
年齢・経験・運動能力を問わないニュースポーツやレクリエーションの普及状況の把握に繋がるため	目標値	500	500	500	500	500	500				
	実績値	321	295	343	323	381					
	達成率	64.2%	59.0%	68.6%	64.6%	76.2%					

指標の内容	地区スポーツ振興会協議会スポーツ行事参加参加人数						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
地区スポーツ・レクリエーション活動の活性化の状況を把握するため	目標値	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000				
	実績値	53,714	57,590	46,452	47,482	47,784					
	達成率	89.5%	96.0%	77.4%	79.1%	79.6%					

指標の内容	健康ウォーク参加人数						単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
健康づくりやスポーツに取り組むきっかけづくりに繋がる健康ウォーク「歩け鎌倉」の充実を図るため	目標値	400	400	400	400	400	400				
	実績値	52	112	133	145	28					
	達成率	13.0%	28.0%	33.3%	36.3%	7.0%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> 参加者数が横ばいである状況は、天候に左右されたものもあると考えるが、周知方法や企画を見直すことにより更に多くの参加者が得られるよう検討する。 運動やスポーツをする習慣のない市民が参加しやすいプログラムを企画し、参加者数の増加を目指す。
-----------------------	--